



Application of Constraint-induced Movement Therapy for People with Severe Chronic Plegic Hand

田邊，浩文

(Degree)

博士（保健学）

(Date of Degree)

2012-03-25

(Resource Type)

doctoral thesis

(Report Number)

甲5428

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/D1005428>

※ 当コンテンツは神戸大学の学術成果です。無断複製・不正使用等を禁じます。著作権法で認められている範囲内で、適切にご利用ください。



論文内容の要旨

専攻領域 リハビリテーション科学

専攻分野 運動機能障害解析学

氏名 田邊 浩文

論文題目

Application of Constraint-induced Movement Therapy for Severe Chronic Plegic Hand

(慢性重度麻痺手に対するCIセラピーの適用)

論文内容の要旨

本研究は、手関節や手指の伸展が不能またはほとんどできない重度の麻痺手 (based on UAB grade 4,5) を対象に自助具やスプリントを使用したCITと神経発達学的治療を行い、その効果について検証することを目的とする。研究デザインは単一盲検マルチベースラインでCIT前とCIT後、CIT前とCIT1ヶ月後の差を比較した。参加者は脳卒中後12ヶ月以上経過する片麻痺15名で、いずれもリハビリテーション病院に入院してCITを受けた。CITのプロトコールは、2週間の非麻痺手拘束と1日6時間の集中訓練そしてトランസフアーパッケージとした。主な評価法はFugl Mayer Assessment (FMA), Modified Ashworth Scale (MAS), Active Range of Motion Test (AROM), Grade5 Motor Activity Log (Grade5 MAL) である。その結果、CIT前後の比較において統計学的に有意差がFMA, Grade5MALとAROMにみられ、多重比較においても、CIT前とCIT後および1ヶ月後の間に有意差がみられた。生活上での麻痺手使用頻度の増加は主に両手使用を伴う活動においてみられた。慢性脳卒中の重度麻痺手を対象としたCITにおいて麻痺手機能の有意な改善をもたらすことが検証された。

指導教員氏名：種村 留美

論文審査の結果の要旨

氏名	田邊 浩文		
論文題目	Application of Constraint-induced Movement Therapy for Severe Chronic Plegic Hand 慢性重度麻痺手に対するCIセラピーの適用 (外国語の場合は、その和訳を併記すること。)		
審査委員			
審査委員	区分	職名	氏名
	主査	教授	種村 留美
	副査	教授	藤野 英己
	副査	准教授	長尾 徹
	副査		印
要旨			
本研究は、手関節や手指の伸展が不能またはほとんどできない脳卒中重度片麻痺患者15名の麻痺手に対し、手関節や自助具やスプリントを使用したConstrained-Induced Movement Therapyと神経発達学的治療を組み合わせて2週間行い、その効果について検証したものである。研究デザインは、シングルブラインドマルチベースライン、CIT前後、CIT1ヶ月後の、Fugl Mayer Assessment (FMA), Modified Ashworth Scale (MAS), Active ROM (AROM), Grade5 Motor Activity Log (Grade5 MAL) の結果を統計学的に検討している。CITのプロトコルは、2週間の非麻痺側拘束と一日6時間の集中訓練、トランസフアーパッケージである。本介入の結果、CITの前後でFMA, Grade5 MAL, AROMが有意に改善しており、さらに多重比較においてもCIT前とCIT後及び1ヶ月後の間に有意差が見られている。生活上の麻痺手使用頻度の増加も、両手使用を伴う活動においてみられ、CIT療法が重度片麻痺手の有意な改善をもたらすことが検証されている。本研究は、これまで困難とされた慢性期重度片麻痺の機能改善について重要な知見を得たものとして、大変価値のある研究である。			
よって、学位申請者の田邊浩文は、博士（保健学）の学位を得る資格があると認める。			
論文名 : Application of Constraint-induced Movement Therapy for Severe Chronic Plegic Hand 著者名 : Hirofumi TANABE, Toru NAGAO, Rumi TANEMURA 受理日 : 2011.11.26 掲載予定 Asian Journal of Occupational Therapy volume 8, 2012 (web journal)			